

例えば…

就職活動の本

各業種案内、
絶対内定シリーズ、
面接の極意、就活のための
メイクの本など



大学生活・研究に 関する本

理系/文系別論文の書き方、
調査の作法、アルバイト
トラブル対処法など



語学試験の 問題集

TOEIC、
英検、
IELTS



新入社員向けの 仕事の本

働き方、数字の読み方・使い方
電話の取り方、
ビジネスメールの書き方など



社会・経済・政治等の 入門書

社会運動、民主主義、
選挙制度、知っておくと得す
る法律など



新生活・ ひとり暮らしの本

ひとり暮らしの始め方、
ひとり分の料理の
作り方など



【その他雑誌3誌】

POPEYE、
ar、
音楽と人



他には…

武蔵野大学で図書館についての講義を行っています！

毎年1回、武蔵野大学との連携事業の一環として、同大学文学部1年生の授業に出向き図書館紹介の講義を行っています。

規模や立地の異なる市内に6つある図書館の特徴や、図書館システム、1年を通して行われるさまざまなサービスなどについて、いったい西東京市図書館はどんな図書館なのかを、本の紹介を交えながらじっくりお話しています。

講義終了後には、簡単なアンケートをお願いし、結果を青年期コーナーづくりへ反映しています。



平成30年度の実績報告 (平成31年3月31日現在)

詳細については「平成30年度西東京市図書館事業概要」をご覧ください。図書館ホームページにも掲載しています。

1 基本指標

※市人口は、203,222人(平成31年3月31日現在)

① 市民一人当たりの蔵書(図書)冊数(蔵書冊数÷市人口)	3.9冊/人
② 登録率(市内在住個人登録者数÷市人口)	17.79%
③ 一日平均貸出数(各図書館の一日平均の合計)	7,450点/日
④ 蔵書回転率(個人図書貸出数÷蔵書冊数)	2.5回
⑤ 市民一人当たりの貸出数(個人貸出数÷市人口)	10.7冊/人
⑥ 登録者一人当たりの貸出数(個人貸出数÷個人登録者数)	45.3冊/人

※資料形態を問わず資料単位は「冊」で表記する。

2 登録者数

(人)

西東京市	36,155
広域圏(7自治体)	4,922
その他	7,045
合計	48,122

※登録者数は有効登録者数。

登録者のうち、当該年度(4月から翌年3月までの1年間)に貸出回数が1回以上ある利用者の数

4 貸出数

資料種別	貸出数
一般図書(冊)	1,393,755
児童図書(冊)	616,101
雑誌(冊)	106,868
CD・カセットテープ(点)	61,559
合計	2,178,283

3 蔵書数

資料種別	所蔵数	
図書	一般図書(冊)	501,707
	児童図書(冊)	198,696
	地域行政資料(点)	94,672
雑誌(タイトル数)	812	
CD・カセットテープ(点)	19,713	

5 予約数

(件)

予約方法	予約数
カウンター	56,660
館内OPAC	67,949
WebOPAC	606,184
未所蔵予約	24,238
合計	755,031

展示

夏休みの宿題に!

目指せ★調べ方マスター! ~信用できる情報の集め方~
令和元年7月20日~8月31日

夏休み期間中、中央図書館・保谷駅前図書館・柳沢図書館・ひばりが丘図書館では、展示「夏休みの宿題に! 目指せ★調べ方マスター! ~信用できる情報の集め方~」を実施しました。

宿題やレポートの資料として使えるデータベース「聞蔵Ⅱビジュアル」「ジャパンレッジ」「国立国会図書館デジタルコレクション」について、使い方を展示で紹介。ひばりが丘図書館では、データベースの使い方講座も開催しました。

展示書架の前には、夏休み中の小中学生が立ち止まり、資料やパンフレットを手にとっていました。



にんにんに西東京

第24回 「民族学博物館」って、ご存知ですか？



西東京市図書館キャラクター
西都右京くん

2024年、日本の紙幣はすべて変わり、一万円札には、渋沢栄一（1840～1931）の肖像が採用されます。

なぜ、「にんにん西東京」でお札の話なのかと疑問に思われるかもしれませんが、昭和の保谷につながる事実があったのです。

「日本資本主義の父」と称されている渋沢栄一は、尊皇攘夷運動に傾倒するも幕臣となり、徳川慶喜の弟昭武に随行してヨーロッパ各地を訪れて先進諸国の実情を広く知り、明治維新後は、大蔵省官吏に登用され新しい国づくりに尽力しました。退官後は、「道徳経済合一説」を唱え、財界の指導者として500以上の組織の設立に関与し、教育、社会、文化事業にも力を注ぎました。

さて、その栄一の後継者となったのは孫の渋沢敬三（1896～1963）です。彼は、日本銀行総裁、幣原喜重郎内閣大蔵大臣、国際電信電話（株）社長に就任するなど、戦前戦後の日本を支えた実業家です。この敬三が、西東京市とつながりがあるのです。

敬三は実業家になる一方で、柳田國男との

出会いもあり民俗学・民族学の研究をすすめ、三田の自邸内で「アチックミュージアム（屋根裏博物館）」（後の日本常民文化研究所）を主宰して、民具の蒐集や研究の成果を刊行しました。早川孝太郎、折口信夫、宮本勢助、宮本馨太郎、宮本常一、今和次郎などの研究者が出入りし、事業への援助も行いました。

このアチックミュージアム同人の一人に、保谷村の大地主の家に生まれ、武蔵野鉄道（現西武鉄道）の取締役となった高橋文太郎（1903～1948）がいました。文太郎は、登山趣味が引き金となり、民族調査やマタギや狩猟、信仰など山岳民俗を中心とした研究成果を残し、民具の収集と共に、『武蔵保谷村郷土資料』（1935年刊）などの著書や多くの論文を執筆しました。

1937年、文太郎は広大な敷地を提供し、現在の西東京市東町1丁目に敬三と共に「日本民族学会付属民族学研究所」を創設し、1939年には、日本初の野外博物館となる「日本民族学会付属民族学博物館」を開設しました。文太郎が収集した資料も含め、国内外の民具

47,000点と民家などが展示されました。しかし1940年、文太郎は提供した敷地の一部を引き上げ、研究員も辞めてしまいました。戦時という状況下で民族学を国策に利用しようとする動きもあったのです。

その後、1962年には民族学博物館は閉館となり、関係資料は国に寄贈され、1975年、大阪の国立民族博物館へ移管されました。敷地の一角にあった（財）民族学振興会事務所も1999年に閉鎖されました。

市民有志による「西東京市・高橋文太郎の軌跡を学ぶ会」は、こうした埋もれた事実を発掘し、その成果をまとめ、2冊の本を刊行しています。2009年11月には、この会が主体となり、後世に歴史を繋ぐため、民族学博物館発祥の地に銘文が建立され、市に寄贈されました。



民族学博物館(1961年頃)

レポート作成
就職活動の
強い味方！

図書館で使える データベース

聞蔵Ⅱビジュアル



JapanKnowledge Lib



聞蔵Ⅱビジュアルとは・・・朝日新聞の記事をインターネット上で簡単に検索できる、新聞記事データベースです。中央図書館、保谷駅前図書館、柳沢図書館、ひばりが丘図書館で利用できます。

ジャパンナレッジとは・・・百科事典や辞典類等の検索・閲覧ができます。中央図書館、保谷駅前図書館、柳沢図書館、ひばりが丘図書館で利用できます。



こんな風に使える



- ・ 近現代の大ニュースをざっと知りたい
- ・ レポートテーマの概要、定義を知りたい
- ・ 課題に出たテーマを絞り込む
- ・ 説明を補強する引用に使う
- ・ 業界研究に使う
- ・ 最近ニュースで見る用語の意味を知りたい
- ・ 面接に活かせる「キーワード」が見つかる

論文やレポートの資料として、インターネット検索で出てきた無料の情報を安易に使っていませんか？ウェブサイトの情報は、簡単にアクセスできるというメリットがある一方、誰でも情報発信できるため、不確かな情報や誤った情報も混在した状態である、という点に注意が必要です。信憑性の高いデータベースを使いこなし、課題や就職活動でほかのみんなに差をつけよう！



データベースを使うには

- ①利用できる図書館にて、「インターネット利用申込書」をご記入ください。
- ②図書館利用カード、または運転免許証・学生証・保険証等身分証をご提示ください。
- ③カウンターにいる職員に、どのデータベースを利用するかお申し出ください。
- ④職員がトップ画面まで準備し、ご案内します。

※利用時間はお一人30分まで。順番待ち待ちがない場合延長利用ができます。

※同時に複数の館で利用することはできませんので、ご了承ください。

ほかにも

図書館で利用できるデータベースは他にもあります。詳しくはこちら



小さなアーティスト



バルーンタウン
谷戸小学校5年

前号(74号)に掲載の「手のひらに」という作品について、学年に誤りがありました。正しくは3年です。訂正してお詫び申し上げます。

初めて本を借りた場所、それは図書館ではなく貸本屋さんでした。コンビニの半分くらいの大きさで、古びた絵本が並んでいました。

そして小学校に入り、図書館を利用するようになりました。まるで林道のように左右に並ぶ本棚の列。本屋さんと異なり静謐な時間が流れ、難しい本、やさしい本、面白い本、怖い本とたくさん出会います。

学校の図書館は本の見返し部分に履歴記載があり、いつ誰が借りたか分かるようになっていました。同じ傾向の作品を借りていると、同じ名前をお見かけすることもし

ばしば。どんな人なのかちょっと思いを馳せるのも楽しいものです。

本棚を見ると、その人となりがわかるような気がするといいます。自分が好きな本が誰かの本棚に並んでいると、それだけで親近感が湧いてきます。特にマイナーな作家さんや作品であればあるほど、その気持ちが強くなります。

やがて大人になり縁あって西東京市に住んでおります。図書館が駅から近いこともあり多く利用する中でいくつもの発見がありました。

- ・ Web で予約ができること。
- ・ 新着図書の入荷が多いらしいこと（近隣市在住の友人曰く）。
- ・ 子ども用のスペースがあること。

特に Web 予約は巻数順貸出も対応しており、シリーズものの読破に便利です。

その上で、やはり図書館の良さは数多の本が並ぶ本棚の列かと思えます。ふと手にとって借りた本が面

白かったとき、電子書籍では感じにくい本それぞれの装丁や紙質の味わいを感じる時。そうした本の一冊一冊に出会えることを思いながら今日もまた図書館に訪うのでした。

そして素敵な本や書棚をいつも準備くださっている西東京市図書館関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

利用者エッセイ

わたしと
図書館
(下保谷 Y.Y)